



ハンガリー政府観光局 ニュース 2011年7月29日 No210

- **ブダペストカード 72 時間のメリット**
- **この秋に見逃せないワイン祭りや収穫祭**
- **BS ジャパン「ドキュメンタリー 2 時間スペシャル」8 月 7 日放送**
- **フジテレビ 2011 F1 ハンガリーGP 放送 7 月 30 日と 31 日深夜**
- **【コラム】ラベンダーの咲く庭で ～蒼穹のティハニ～**

ブダペストカード 72 時間のメリット

この春リニューアルされ、大変使い勝手の良くなったブダペストカード。

ブダペストカード 72 時間 8,300HUF の投資でどれだけのメリットがあるか実例を挙げてご紹介いたします。

利用項目	定価(HUF)	特典(割引率%)	割引後の値段(HUF)
ブダペスト公共交通	3,850	100	0
2 回のガイド付き徒歩ツアー参加	6,000	100	0
西洋美術館	1,600	100	0
2 回のレストランでの夕食	12,000	20	9,600
2 回の温泉利用	7,000	20	5,600
ナイトクルージング	3,000	30	2,100
ブダペスト歴史博物館	1,000	100	0
その他の博物館 2 回	1,500	30	1,050
民俗学博物館	800	100	0
合計	36,750	-	18,350
ブダペストカード 72 時間			8,300
総合計	36,750	-	26,650
メリット	0	-	10,100

ブダペストカード小冊子から転載。メリットとなる金額は、利用する項目により変化します。

ブダペストカードは、ブダペスト交通局の公共交通機関にフリー乗車が出来るとともに、西洋美術館など人気の 3 施設が無料、その他の博物館や温泉、レストランなども割引入場可。さらに、英語ガイドの付いた徒歩観光ツアーにも無料で参加することが出来ます。

この秋見逃せないワイン祭りや収穫祭

トカイやヴィッラーニなどの有名どころのワイン産地に加え、まだ日本にあまりなじみのないワイン産地を含めたワイン祭りやブドウ収穫祭の情報です。

期間	イベント名	開催場所
8/25-8/28	ジュール ワインの日	Győr, Széchenyi tér
8/27-8/28	ワイン・アートフェスティバル	Tök, Kútvölgyi tér
9/3-9/4	ハルカーニ収穫祭	Harkány
9/3-9/4	センテンドレ大収穫祭	Szentendre, Sztaravodai út
9/7-9/11	ブダ城国際ワイン祭り	Budapest, Budaivér
9/16-18	ジェンジェシュ白ワイン祭りや収穫祭	Gyöngyös, Fő tér
9/17-9/18	モハーチ ブドウとワイン祭り	Mohács, Millenniumi Emlékműnél
9/29-10/2	モール ワインの日と民族舞踊祭	Mór, Szent István tér
9/30-10/2	ヴィッラーニ赤ワイン祭り	Villány, Diófás tér
9/30-10/2	トカイ・ヘジャイヤ収穫祭	Tokaj, Kossuth tér
11/26-11/27	ブダペスト新酒とチーズ祭	Budapest, Városligeti Vajdahunyadvár

BS ジャパン「ドキュメンタリー 2 時間スペシャル」8 月 7 日放送

BS ジャパンでは、リスト生誕 200 年を記念し 8 月 7 日(日)の 20:00 から 2 時間の特別番組を放送します。

番組は「生誕200年記念フランツ・リストの栄光と謎」と表題し、「なぜ史上最高のピアニストと言われたのか」と中村雅俊さんのガイドにより謎解きが行われます。

- 放送局:BS ジャパン
- 放送日時:8 月 7 日(日) 20:00 から 21:50 まで
- <http://www.bs-j.co.jp/liszt/>



ブダペスト・リスト広場でリスト像とツーショットの中村雅俊さん

フジテレビ 2011 F1 ハンガリーGP 放送 7 月 30 日と 31 日深夜

フジテレビでは F1 ハンガリーグランプリレースの様態を放送します。

- 予選:7 月 30 日深夜 01:35 から 02:05
- 決勝:7 月 31 日深夜 01:50 から 02:50

<http://www.fujitv.co.jp/f1gp/index.html>

【コラム】ラベンダーの咲く庭で ～蒼穹のティハニ～

飯田 愛紀

「ティハニ、良いところですよ」そう勧められてはいたものの、日程や場所を考慮するとちょっと行けないかなぁ、と思っていた。そんな場所へなぜ行けたかと言うと。「ティハニ行くよ、ティハニ！」友人がバカンスの一環にティハニ観光を組み込んでいたからだ。実にラッキーである。そういう訳でルートはあまり参考にならないかもしれないが、私たちはバラトン湖・シオーフォクの船着き場から船に乗ってティハニ入りを果たした。

エメラルドグリーンに揺らめく湖面を真っ白な船で進むのはなかなか童心のくすぐられる体験だった。ことさらこのバラトン湖のエメラルドはハンガリー人の心を揺さぶるらしく、「これこれ、この色！」と嬉しそうに言うので私まで嬉しくなってしまう。

ちなみに写真にある“REV”とは船着き場という意味だそう。余談であるがブダペストの郊外電車がHEVという名称であるため、「電車がHEVで船がREVなの？ 乗り物系はEVで統一してるの？」と帰国してから友人に尋ねた所、「いやREVは日本語で言う“船着き場”で HEV はただの名前、偶然だから」という返事だった。とんだ勘違いである。恥ずかしい。しかしながら、一つ賢くなったおかげで分かったことがある。ティハニには“Tihany Rev”と呼ばれる半島のさらに先端があるのだが、ティハニの船着き場、という名称なのだろう。とっても素敵だ。

船を降りて、修道院教会のある丘の頂上を目指す。土産物屋やレストランが多数立ち並び、観光地としてのティハニの人気を思わせる。——ティハニはとても良いところ。何度も聞いてはいたものの、まさに百聞は一見に如かずだと思い知ったのは登り切った丘から見た景色を目の当たりにした時だった。

中でもひときわ目を引くのは中腹に立つ修道院だ。吹きすさぶ湖からの風を一身に受ける姿は凛々しく、裏腹に入り口付近に植えられたラベンダーは今が盛りで可憐に美しい。



エメラルドグリーン湖。



丘からの眺め。



修道院とラベンダー。

軽装だったため友人たちは修道院内部へは入れず、私一人での見学となった。修道院の地下は博物館となっており、外観からは想像もつかない広さだ。礼拝堂の美しさや、アンドラーシュ1世の墓碑にも身の引き締まる思いだったが、予想外に広い地下博物館が私は気に入ってしまった。ちなみにパンノンハルマ修道院に収めてあるハンガリー語最古の文書はティハニ修道院の創設趣意書である。オリジナルはパンノンハルマにあるため、ここに展示してあるのは複製だ。

思いのほか長く見学してしまい、友人たちを待たせたことに焦りつつ外へ出ると地下に慣れた目には太陽が眩しくて思わず窄めてしまう。少しだけ近くなった空は青く澄んでいて、どこを切り取っても絵になる光景に改めて目を細めた。いい眺めだ。この場で一日中ボーっと景色を眺めていてもきっと飽きないだろう。

景色の美しさ、修道院の荘厳さ、散歩道の可愛らしさや楽しさ。他にも多角的な見所がギュッと詰まった場所がティハニ。そんな印象を持った。だからこそ様々な人に愛され、こうして観光に訪れる人々が耐えないのだろう。足早に去ってしまったのが少々惜しい。できれば今度はゆっくりと訪ねてみたいものだ。



アンドラーシュ1世の墓碑。



ポストカードのような風景。